



社会的に弱い立場にある若者を支援 「ユーシービー コミュニティヘルス ファンド」助成事業募集開始

グローバルバイオファーマのUCB（以下「ユーシービー」）は、「ユーシービーコミュニティヘルスファンド」を通じて、同社日本法人のユーシービージャパン株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：菊池加奈子、以下「ユーシービージャパン」）を含むユーシービーグループが活動する世界各国の地域社会において、社会的に弱い立場に置かれている若者の支援を行っています。本年は、総額200万ユーロ（約2億7,000万円）をメンタルヘルスに問題を抱える若者の支援もしくは、紛争から逃れてきた若者の支援を目的とした活動を行っている非営利団体を対象に助成先の募集を開始しました。

2年以上続くコロナ禍や、気候変動、人種差別問題、不平等、高まる地域紛争などは近年、社会全体のウェルビーイングを脅かし、多くの若者が不安定な状況に晒されています。ユーシービーコミュニティヘルスファンドは、以下の要項に従って活動に必要な資金を助成します。

【助成の概要】

- 支援対象 : 年齢18歳～24歳の若者
- 支援領域 : メンタルヘルスおよび/または紛争による強制移住
- 応募締切 : 2022年6月30日
- 助成金額 : 1団体30,000ユーロ（約400万円）～50,000ユーロ（約675万円）

応募資格の詳細や方法については、当ファンドを運営しているボードゥアン国王財団のウェブサイトでご確認ください。

<https://kbs-frb.be/en/node/33024> (English)

ユーシービーコミュニティヘルスファンドについて

ユーシービーコミュニティヘルスファンドは、コロナ禍の状況に対応して2020年に設立されました。ボードゥアン国王財団により運営され、社会的弱者に見られる健康格差に取り組むことを目的としています。ユーシービーでは、世界保健機関（WHO）憲章に従って、健康を肉体的、精神的および社会的なウェルビーイングを包括する総合的なものと捉えています。ユーシービーはこのコミュニティヘルスファンドを通じて、ユーシービーグループが事業を行っている各国における社会的マイノリティーや子供、高齢者、社会経済的に恵まれない人々、保険制度の恩恵外にいる人々といった社会的弱者への支援を行っています。過去





2年間で合計99件のプロジェクトに総額450万ユーロを支給しました。日本の団体では、一般財団法人あしなが育英会がコロナ禍で経済的苦境にある親のない高校生や大学生への支援活動に対して第1回の助成対象のひとつとして選ばれました。

ボードゥアン国王財団について

ボードゥアン国王財団の使命は、ベルギーをはじめとするヨーロッパ、そして世界によりよい社会を築くため貢献することです。財団は、変化と革新の立役者となり、公益に寄与し、社会的結束を高めます。よりよい社会の構築に貢献する組織や個人の能力開発を通じて財団のインパクトを最大化することに努めています。財団はベルギー、ヨーロッパそして世界中で個人や企業の効果的なフィランソピーを促進しています。ボードゥアン国王財団は、ボードゥアン国王即位25周年を記念して、1976年に設立されました。

ユーシービーについて

ユーシービー (www.ucb.com) は、ベルギーのブリュッセルに本社を置くグローバルバイオファーマで、ニューロロジーや免疫・炎症領域の重篤な疾患と共に生きる患者さんのより良い生活の実現を目指して、革新的な医薬品の研究開発ならびにソリューションの提供に力を注いでいます。約40カ国に拠点を置き、従業員数は8,600名あまりを擁しており、2021年の収益は58億ユーロでした。ユーシービーはユーロネクスト・ブリュッセル証券市場に上場しています。

ユーシービー・ジャパン株式会社 (<https://www.ucbjapan.com/>) はUCBの日本法人として1988年に設立され、抗てんかん薬「イーケブラ®」、「ビムパット®」、関節リウマチ治療薬および乾癬治療薬「シムジア®」、新規機序を持つ乾癬治療薬「ビンゼレックス®」を中心に医薬品事業を展開しています。患者さんにとっての価値を創造するバイオファーマリーダーとして、従来の治療で十分な改善が得られなかった患者さんに、新たな治療の選択肢を提供することを目指しています。

この件に関するお問合せ:

ユーシービー・ジャパン株式会社 広報

03-6864-7650

